

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 3年 3月 23日

事業所名: 児童発達支援センター 輝なっせ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・面積等の設置基準は満たしています。	・子どもたちが分かり易い行動し易い環境を考慮しながら、日々検討しております。ご家族の方にも、環境の意味を説明し、理解を深めます。
	②	職員の配置数は適切である		○	・配置基準は満たしています。	・保護者の方には、人数や内容など丁寧な説明を行い、支援者のスキルアップを図りながら納得していただけるように取り組みます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・子どもたちが分かり易いように、環境を物理的に整理しています。	・個々に合わせた道具で行動し易い工夫を行い、ハード面の改善に努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、療育終了後に清掃を行っています。 ・それぞれが活動しやすいように工夫しています。	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員全体で意識をし、みんなで共通理解を図る時間を設けています。	・PDCAサイクルを意識し、職員全員で検討し、課題解決に向けて取り組みます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・年度末にアンケート調査を行い、保護者からの課題の把握を行い、次年度の事業計画へ反映させています。	・ハード面等で、早急に改善できない部分の説明や対策を十分に行うなどの配慮を行い出来るだけ意に沿う形を工夫しながら、理解して頂けるよう努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・インターネット、当法人のホームページにて公開しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・事業所内や事業所外の研修に積極的に参加しています。	・学んだものを他職員と共有し、実践できるように取り組みます。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・ご利用の前には担当者会議を開き、ご家族や関係事業所からの聞き取りで状態を把握し、計画に反映しています。ご利用後も毎回、ご家族とお話をしたり連絡帳でのやり取りで情報の共有を図っています。	・計画の内容や支援の内容を丁寧に伝え、本日の子どもの目標達成に向けて活動前にご家族と共有する時間を設定します。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・初期情報収集の為、アセスメントシートを記入して頂いています。	・常にシートの見直しと改善に取り組みます。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		・保護者等の希望や課題を聞き取り、本人の発達段階やご家庭の状況等を踏まえた計画につながるようになっております。	・今後もガイドラインの理解の徹底、保護者と子どもの課題を調整しながら、将来を見据えた計画になる様見立てる力等のスキル獲得に努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画を常に確認しながら、計画を基に、療育での目標を設定し目標達成に向けて取り組んでいます。	・毎回の目標や課題の意味を保護者と共有できる時間の設定を行います。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・プログラムの立案は、チームで振り返りや打ち合わせの中で、それぞれの目標に沿って行っております。	・今後も個々に合わせた活動プログラムを提供出来る様にチームでの振り返り、打ち合わせを徹底して行っていく予定です。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・活動内容が固定化しないように、子どもたちの好きな物を取り入れながら意欲的に取り組めるよう工夫しています。	・子どもたちの成長共に、心身の変化も見られる為、常に周囲と状況を共有しながら工夫した支援に繋がります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・子どもたちの発達段階や特性に応じて活動場面で、環境を調整しながらその活動に注目、理解できるように調整しています。	・常に子どもさんやご家庭の段階に合わせた学びを検討し、作成に努めます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・打ち合わせは、チームで振り返りを基に、それぞれの目標に沿って行い、役割分担をしております。	・記録の内容が薄いため、記録の仕方、内容など業務の負担にも考慮しながら検討していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・振り返りの時間を設定し、子どもの状況や保護者からの相談内容などを共通理解する時間を設けています。	・記録の仕方、内容など常に検討、改善していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・連絡帳と並行して記録を残すようにしている。	・記録も大切にしながら、支援の準備や段取りの確認を徹底しながら進められる様に、内容など検討していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリング時期には、保護者の方との面談や担当者会議を開き、保護者や関係機関との連携に努めています。	・担当者会議では、事業所や相談委員が主な為、学校や園などの教育機関との連携の強化に努めます。
			チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・モニタリング時期には、保護者の方との面談や担当者会議を開き、保護者や関係機関との連携に努めています。	・教育、家庭、福祉とトライアングルでの関わり連携が重要となる為、お互いに連携し合える工夫を提案していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて連携し情報共有できる体制づくりをしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・医療的ケアが必要な子どもの受け入れ指定を受けていません。	・地域で支えられるよう地域での連携に努めます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・医療的ケアが必要な子どもの受け入れ指定を受けていません。	・地域で支えられるよう地域での連携に努めます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて園との面談や移行先も含めた会議、サポートブック作成や情報提供などにより、移行先と共有を図っています。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて学校との面談やサポートブック作成や情報提供などにより、共有を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・定期支援や研修会等に参加、研修会等の依頼や療育の指導を行って頂いています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	・今後検討していきます。	・地域の保育園、幼稚園に事業所内で行う企画型の案内を行いながら、交流を図れる場を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・定期的にこども部会へ参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・親子療育を中心にご家族と子どもの状況や課題について、毎回お話しし共通理解を図っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・同一法人内に療育センターがある為、そちらと連携しています。	・保護者の方へ啓発します。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明責任など	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時、丁寧な説明を心掛けています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・保護者との面談の時間を設定し、保護者からの課題と現状を把握し見立てた物から計画を作成し、計画の内容を説明し同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者の方から相談、連絡帳でのやり取りなどから傾聴し、保護者の方が納得、理解できるよう、具体的に話、対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会などの交流会を開き、参加して頂いています。	・場所の提供などを行い、自由に集まれる空間を設定します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者の方からの相談など保護者の方と一緒に考え、最善の手段を検討しお伝えしています。	・今後も保護者からの相談に対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・活動内容など毎月のお便りにて直接渡しています。また、アプリを利用し保護者の方と連絡を取れる体制を構築しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の取扱いは十分徹底しています。	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・毎回の療育日に連絡帳を通して、やり取りを行ったり、直接の面談によりお話をしています。		

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・企画型をする際には地域の方も巻き込んだ企画となるように検討していきます。
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルは作成しています。	・保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・適宜、訓練を行っています。	・保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメントシートに記入して頂き、確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・食事提供をしていません。	・今後検討していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・過去のヒヤリハットの内容を共有し、改善に努めています。	・ちょっとしたことでも、記録に残せる様に共通理解を図ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止委員会の設置、研修会等へ参加しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・子どもさんの特性を踏まえ、そのような行動が起きないように事前対策に努めています。	・緊急時の対応として個別支援計画に丁寧に記載し同意を得ます。

児童発達支援事業 評価アンケート 児童発達支援センター 輝なっせ

令和 2年度 集計結果 (公表) 公表: 令和 2年 3月 23日

事業所名: 児童発達支援センター 輝なっせ

保護者等数(利用児: 49 回収数: 21 割合: 43%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2		わからない回答: 3人	・部屋の使い方を区切る等し、十分なスペース確保をしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17			・わからない回答4人	・個々に合わせ環境調整やスケジュールを設定しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21				
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17			・わからない回答4人	・それぞれの目的があるので、個々の目的の説明を保護者の方に説明していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16			・わからない回答5人	・園との平行通園をされている方が多くあります。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	17			・わからない回答4人	・ペアレントメンターがどんな役割を行っているのか保護者に説明をおこなっていく
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17			・わからない回答4人	・家庭での子育てのお手伝いが出来る様に家庭での様子を聞き取る時間を十分に作っています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18			・わからない回答3人	個別支援計画をもとに面談を行う期間を半年にごとに行っているが、説明が不十分だったと思われる。説明を行い半年に1回面談をする時間を設けている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11		1	・わからない回答4人	・保護者からの希望を聞き取りながら日程や時間を考慮し計画を立てます。
保護者 への 説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14			・わからない回答2人 ・未回答5人	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			・未回答5人	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16			・未回答5人	

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16			・未回答5人	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13			・わからない回答3人 ・未回答5人	・マニュアルは策定してありますが、保護者への周知が十分ではなかったため、丁寧な説明を行います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			・わからない回答6人 ・未回答5人	・定期的に行なっておりますが、保護者の皆さまへの十分な周知方法を検討します。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	21			・未回答5人	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	21			・未回答5人	

ご協力ありがとうございました。